

高病原性鳥インフルエンザから 愛玩鶏を守るために



平成20年10月

社団法人全国家畜畜産物衛生指導協会

高病原性鳥インフルエンザってどんな病気ですか？

- ①「高病原性鳥インフルエンザ」は、鳥インフルエンザウイルス(写真1)の中で、特に病気を起こす力が強い種類のウイルスによって起こる病気です。
- ②高病原性鳥インフルエンザウイルスは、この病気の発生地域からカモなどの渡り鳥によって持ち込まれ、これらの糞などを介して様々な野鳥や野生動物(ネズミなど)等にうつり、感染が拡大していきます。
- ③このウイルスに感染した鶏は元気がなくなったり(写真2)、餌を食べなくなったり、羽毛を逆立てたりして、高率に死亡します。中には症状もなく急死するものもいます。

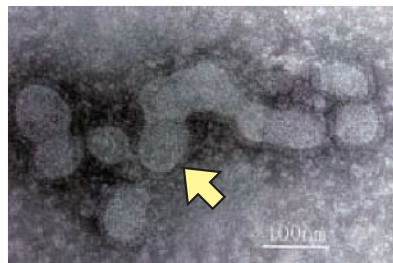


写真1 電子顕微鏡でみた鳥インフルエンザウイルスの写真



写真2 感染し、元気をなくした鶏

愛玩鶏と高病原性鳥インフルエンザ

- ①近年、高病原性鳥インフルエンザは諸外国で発生しており、日本でも平成16年から19年まで毎年発生しています。
- ②愛玩鶏(東天紅、オナガドリ、チャボ、地鶏、シャモ、ウコッケイなど)も、高病原性鳥インフルエンザウイルスに感染すると鶏と同様の症状を示し、死亡します。日本ではほとんどが養鶏場の鶏に発生していますが、平成16年の時は一般家庭の愛玩鶏(チャボ)にも発生しました。
- ③飼育小屋やその周辺に、高病原性鳥インフルエンザウイルスに感染した野鳥やネズミなどが侵入すると、愛玩鶏が感染しやすくなります。
- ④愛玩鶏が高病原性鳥インフルエンザウイルスにかかった場合は、法律に基づいて、最寄りの家畜保健衛生所に届出をする必要があります。